

日本経済論特講 II 小島祥一

平成 25 年度

1. 授業の内容(Course Description)

世界経済危機は、パート I が大規模な政策と新興国の成長で一段落した後、ユーロ圏財政破綻の危機とアメリカ「財政の崖」問題で、パート II に移った。特に日本経済は 90 年代のバブル崩壊後長期低迷し、さらに世界経済危機に巻き込まれて「失われた 20 年」となった。

この危機を生きのびるためには、なぜ危機に陥ったのか、なぜ低迷が続くのか、どうすれば脱出できるのか、各人で考えを深める必要がある。

世界経済危機はアメリカの住宅バブル崩壊から起こったものであり、原因や対応策、その後の低成長、国債累増は、日本の経験とそっくりなため、「米欧の日本化」という見方が定着した。世界経済危機を知るためにも、日本経済の危機を知ることが必要になる。

日本経済論特講 I では、世界経済危機と日本の失われた 20 年、20 世紀後半以降の日本の政治経済概略、日本の政治経済ゲームの 4 幕劇と堂々巡りについて、幅広く学んだ。この日本経済論特講 II では、日本の危機の根源にあるバブル発生・崩壊・長期低迷に陥った過程を理論的に解明するため、マクロ経済学のラムゼー・モデル、重複世代モデルを用いて、伝統的な経済成長論を概観するとともに、そこにバブルを導入するとどのような影響が現れるか、標準バブルと信用バブルはどのような仕組みで発生し崩壊するか、を検討する。

(中略)

7. 授業の計画(Course Syllabus)

[第 1 回] 第 5 章 国債・財政破綻の危機

1. 市場と政府の間のカネの流れ

[第 2 回] 2. 国債残高の累増

3. 公債依存度の増大、元利支払い比率

[第 3 回] 4. 財政投融资の仕組み

5. 国のバランスシート

[第 4 回] 6. 借換債の仕組み・国債の資金繰り状況

7. 一般会計・特別会計の歳出・歳入構造

[第 5 回] 8. 主要税目の税収の推移

9. 社会保障・税一体改革、成長戦略

[第 6 回] 10. プライマリー・バランスと財政理論

11. 経済政策と金融工学理論

[第 7 回] 第 6 章 人口減少・年金破綻の危機

1. 人口ピラミッドの推移

[第 8 回] 2. 年金の仕組み

[第 9 回] 3. 社会保障のカネの流れ

4. 年金改革のさまざまな案

[第 10 回] 第 7 章 経済成長とバブルのマクロ理論

1. マクロ経済の時間的流れ

- ① 経済成長のプロセス
- ② バブル発生・崩壊・長期低迷のプロセス

[第 11 回] 2. 貯蓄率一定の経済成長モデル

- ① 資本蓄積のプロセス
- ② 黄金律
- ③ 技術進歩

[第 12 回] 3. 現在と将来の消費配分・貯蓄率可変の経済成長モデル

- ① ラムゼー・モデルとオイラー方程式
- ② 重複世代モデルと貯蓄のライフ・サイクル

[第 13 回] 4. バブルのマクロ経済計算

[第 14 回] 5. バブルなしの経済成長プロセス

[第 15 回] 6. 標準バブルと信用バブルの発生とマクロ的影響